

2017年4月入職

うちやまゆうが
内山悠雅



患者さまの言葉が、自分の支えに

立候補を決めるまでには、葛藤があった

私は患者さまが快適に過ごせる環境づくりを意識しています。透析クリニックは患者さまが週に3回通院し、1回におよそ4時間の治療を受けられる場所です。通院や治療が辛いと思うのではなく、気持ちよく来院され、また笑顔で帰っていただくために患者さまとより多くの会話をし、少しの変化でも気づき、迅速に対応できるように心掛けています。入職1年目のとき、ある患者さまが「あなたは思いやりエキスパートになるべきだ」と私におっしゃってくださいました。その後も「いつエキスパートになるの？」と声をかけていただくうちに、本当に期待されているのだと感じました。実は、入職当初から思いやりエキスパートとして活躍している上長や先輩に憧れを抱いていたのですが、これまでは自分の知識や技術に自信を持たず、日常の業務だけで手一杯で立候補するまでに至りませんでした。実務と研修を並行して行うことで患者さまにご迷惑をかけてしまわないだろうか、自分は本当に思いやりエキスパートに値するのかと自問自答していました。

1年間の熟考を経て立候補を決めたのは、精神的に余裕が出てきたことだけでなく、上長からの激励とずっと応援してくれた患者さまがいらしたことが私を後押ししたからです。次にその患者さまにお会いしたときに思いやりエキスパートに認定されたことをご報告しようと思っていて、今からとても楽しみです。

チーム医療を推進し、患者さまの期待に応えたい



思いやりエキスパートの研修を経て一番変わったのは、チーム医療という視点ができることです。透析はチームで行う治療のため、自分のスキルアップを通して、クリニック全体の環境をより良く変えていきたいと思うようになりました。エキスパートとしてのプレッシャーはありますが、今後は後輩の手本となれるよう、身を引き締めて頑張りたいと思います。

以前、患者さまから「あなたがいると安心するから、あなたの姿を見て育った技士さんたちにも安心して任せられる」とおっしゃっていただき、今もその一言が私を鼓舞してくれています。これからも患者さまの期待に応えられるよう、より一層、自己研鑽に励んでまいります。



患者さま ひとりひとりに寄り添い
心の満足を目指します。

内山悠雅